

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 (3月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①確かな学力の向上(基礎学力・技術・技能の定着、魅力ある教育課程編成の実現)</li> <li>②生涯にわたる自分づくり(キャリア教育・シチズンシップ教育の充実)</li> <li>③命や人権を守る(命の授業・人権教育・安全教育の実践)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新教育課程の完成年度を見据えて、体系的な授業を定着させると共に、授業改善研修等により魅力ある授業づくりに取り組む。(①)</li> <li>○地域や外部機関と連携して社会で必要とされる人材育成に取り組む。(①②)</li> <li>○他者や自分の『いのち』を大切にする心を育む、かながわ「いのちの授業」にすべての教職員が取り組む。(③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTや教科代表者会議を活用し新カリへのスムーズな移行を実施できる様計画を立て、遂行する。(①)</li> <li>・ICT利活用事業を推進し、魅力ある授業につなげる。(①)</li> <li>・企業、地域など外部の知見や本校に対するニーズを捉え、実社会で求められる人材育成を行う。(②)</li> <li>・他者を思いやる心を育む指導、いじめ防止に係る指導、人権教育、安全教育、保健指導などを、様々な教育活動の中で実践する。(③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成年度につながる形で、新カリの授業内容を中心に実施できたか。(①)</li> <li>・ClassroomやTeamsを活用して授業や教材のICT化ができたか。業務の効率化が図れたか。(①)</li> <li>・外部機関との連携を通じて実社会で求められる人材を育成できたか。(②)</li> <li>・すべての教職員が他者や自分の『いのち』を大切にする心を育む指導を実践することができたか。(③)</li> </ul>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒指導・支援の充実(規範意識の定着、教育相談・部活動の活性化)</li> <li>②相互理解の促進(インクルーシブ教育の推進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会マナーの定着と規範意識の高揚を目指すとともに、部活動をはじめ様々な生徒活動を通して生徒の自己肯定感を高める指導を推進する。(①)</li> <li>○課題を抱える生徒の支援のために職員間で情報共有を行い、迅速で丁寧な対応を行う。(①②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装頭髪、遅刻指導等を継続して生徒の意識を高める。(①)</li> <li>・部活動の活性化を図り、活動を通して自己肯定感や人間力を高める指導を行う。(①)</li> <li>・教育相談会議を通して教員間の情報共有に努め、課題を抱える生徒を全体で支援する。(①②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻数や服装指導対象者が今年度比で5%以上減少したか。(①)</li> <li>・部活動への生徒参加数が5%以上増加し、行事アンケートの結果、概ね満足と答えた生徒が80%を超えたか。(①)</li> <li>・生徒の課題を職員間で共有し、適切な支援を行えたか。(①②)</li> </ul>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価(3月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>①進路指導・支援の充実(進路ガイダンス・インターンシップ・職業教育等の充実)</p> <p>②社会性の育成(コミュニケーション・情報発信能力の向上)</p>	<p>○生徒が「生涯にわたる自分づくり」に主体的に取り組む態度を養うとともに、社会の状況に適応した進路支援を行う。(①)</p> <p>○就業体験や高大連携事業を通し、進路活動に対する意識やコミュニケーション能力を高めるための支援に取り組む。(①②)</p>	<p>・進路集会や個別面談などを通じて計画的な進路指導を行い、生徒が自らの目標を明確に持つことができるよう支援する。(①)</p> <p>・外部講師や地元企業によるガイダンスを実施し、個に応じた進路支援を行う(①)</p> <p>・就業体験や高大連携事業に参加させることで、早い段階から主体的に進路を考える姿勢を育む。(①②)</p>	<p>・校内組織が相互に連携することにより、進路選択のミスマッチを防ぐことができたか。(①)</p> <p>・外部講師や地元企業によるガイダンスが、実際の進路決定場面で有用であったか。(①)</p> <p>・就業体験や高大連携事業を通して、進路活動に対する意識やコミュニケーション能力を高めることができたか。(①②)</p>					
4 地域等との協働	<p>①地域連携・協働の推進(CSとしての取組みの推進・異校種間連携事業の推進)</p> <p>②開かれた学校づくりの推進(ホームページ・ポスター・各種イベントの活用)</p>	<p>○地域連携を充実させ、地域への学校理解を推進する。(①②)</p> <p>○専門高校である本校の魅力特色を、学校説明会のほかHP、SNSなどを活用して発信し、地域や中学生・保護者の本校の理解を深める。(②)</p>	<p>・地域連携の充実や外部イベントへの参加を推進し、開かれた学校を目指す。(①②)</p> <p>・学校説明会や体験会を実施し、本校の魅力や特色を理解してもらう。(②)</p> <p>・HPを効果的に活用して情報を発信し、更にSNSで情報発信の頻度を上げ、情報発信の充実を図る。(②)</p>	<p>・連携活動やイベントへの参加数、地域から連携希望が増えたか。(①②)</p> <p>・地域や中学生・保護者に対し、効果的に発信することができたか。学校説明会等の参加状況やアンケートの結果が良好であったか。(②)</p> <p>・HPやSNSの更新回数が増加し、更に閲覧数が増加したか。(②)</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>①信頼と期待に応える学校づくりの推進(学校運営の組織的な改善・不祥事防止研修)</p> <p>②安心して快適な教育環境の整備(教員の働き方改革の推進・施設設備の充実)</p> <p>③防災教育の推進(DIG・防災訓練による災害対応力の向上)</p>	<p>○職員一人ひとりが自覚を持って事故不祥事防止に努める。(①)</p> <p>○ICT利活用授業推進事業をベースに教育環境の整備、充実を図り、安全で安心な学習環境を作る。(②)</p> <p>○PTAや地域と連携した防災計画を再確認し、ともに協力しながら、生徒や職員全体の防災意識を高める。(③)</p>	<p>・不祥事防止研修や教育活動推進PT会議を活性化し、職員自らが課題意識を持って職場全体で取り組む。(①)</p> <p>・各教科の授業でClassroomを有効に活用するため、校内研修の充実を図る。(②)</p> <p>・PTAや地域と連携し、防災訓練やDIG訓練を実施し、生徒が主体的に行動できるように効果的な防災教育の実施に努める。(③)</p>	<p>・事故不祥事防止を徹底し、全体で解決に向けた取組を実践することができたか。(①)</p> <p>・教育環境の整備を推進し、生徒が学びやすい、職員が働きやすいと感じることができたか。(②)</p> <p>・地域防災という視点から、被災時に備えた実践的な対応について、生徒も職員も意識を共有し、災害対応力の向上が図れたか。(③)</p>					